

11月1日は『北海道教育の日』 ～道民がみんな育てる未来の宝～



■「北海道教育の日」とは

家庭、学校、地域社会及び行政などが一体となって教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、道民の皆さんが子どもたちに対する教育について考え、語りあい、行動するきっかけとしていただく日です。

■「北海道教育の日」の制定

教育関係団体を中心に民間35団体により組織された「北海道教育の日」制定推進協議会が、2006(平成18)年11月1日に「北海道教育の日」制定大会を開催し、毎年11月1日を「北海道教育の日」として制定宣言しました。

その後、「北海道教育の日」を道民運動として地域に定着した取組とするため、新たに道民運動推進協議会が設立されました。

■「北海道教育の日」と連動した取組

「北海道教育の日」の趣旨に適合する取組を協賛事業として位置付けて、毎年、10～11月を「北海道教育の日協賛月間」として、「北海道教育の日」関連行事を集中的に取り組んでいます。

[北海道教育の日に関するHP]

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/seisaku/kyouikunohitoha.html>



制定宣言

今日の教育には、子どもたちに、時代の大きな変化の中にあっても、自ら直面する困難に立ち向かい、乗り越えていこうとする力を育てていくことが求められています。

一方、子どもたちの学力低下への懸念、道徳心や規範意識、公共心の希薄さ、家庭や地域社会の教育力の低下などが指摘されています。

もとより、教育は、人格の完成を目指すとともに、社会の形成者を育成する使命を持ち、まさに、社会の存続基盤をなすものであります。

北海道の未来を託す子どもたちが、明るく生き生きと毎日を過ごし、将来に向かって夢や目標の実現に向けて、自己を高めながら成長していくことは、私たちの願いであり、その環境を整えていくことは、私たちの責務です。

すべての道民が、教育についての理解と関心を高め、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を担い、『北海道の子どもたちは、道民の手で育てていく』という思いをもって、語り合い、行動する契機となる日として、毎年11月1日を『北海道教育の日』とすることを、本日、ここに宣言します。

平成18年11月1日 「北海道教育の日」制定推進協議会